【授業科目】母性看護学概論　　Introduction to Maternity Nursing

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
日比 千恵、髙塚 麻由、野内 香純	２年次 前　期	必　修	1	15	講　義	あり	巻末掲載	可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／母性看護学の概念、母性看護の意義・役割を学ぶ。母性保健の変遷と現状を踏まえ、次世代を産み育てる女性の健康の維持・増進、疾病予防に関する看護活動の課題を考えることができる。 小グループでともに学び合う共同学習を中心に授業を進める。事前に課題を提示し、授業日までに教科書または文献等を参考に課題についてまとめ、それらに基づき授業日に意見交換および発表を行う。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出した課題のコメントは授業で全体の総評を行う。 ＊実務経験を持つ教員が授業を進める
実務経験に関する授業内容	母性領域の臨床経験を持つ教員が、看護師として必要な母性の知識について、実務経験や研究成果を交えながら指導する科目である
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる。」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①「母性」とは何か、セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス･ライツの観点から、その概念の変遷を学び、母性看護とは何かを考察することができる。 ②「母性」を取り巻く環境との関連から母性看護の対象者とその健康課題を理解し、支援の方法について文献を調べ、読んで自分の考えを述べることができる。 ③母性看護の対象を理解し、母性に必要な思考過程および看護技術について述べることができる
時間外学習に必要な内容・時間	事前学習：事前課題に基づき調べ学習を行い課題についてまとめる。(各 30 分) 事後学習：各自の学びを復習することで確認する。(各 30 分) 第 1～3 回：講義の資料を整理し、理解を深め、テーマに基づく関連研究論文を検索し、その内容をまとめる。 （課題レポート） 第 6 回：女性の形態・機能を理解し覚える。 第 4～5，7～8 回：自分のノートを整理し、理解を深める。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第１回　母性とは何か：「母性」の概念について学ぶ。1 母性・父性・家族関係、発達課題、セクシュアリティについて述べることができる。 課題レポート提示：テーマに基づく関連研究論文を検索し、その内容をまとめる。 第２回　母性とは何か：「母性」の概念について学ぶ。2 ヘルスプロモーション、リプロダクティブヘルス、母性看護の在り方について述べることができる。母性看護の対象を理解できる。 第３回　母性を取り巻く社会の変遷と現状 母性看護の歴史的変遷を知る。歴史的な変遷を踏まえ、それが女性および社会にどのような影響をもたらしたのか、多角的に検証する。 第４回　母性保健の施策と動向を学ぶ。 「健やか親子 21」と成育基本法についての施策と課題、評価指標について学習し、理解する。 母子保健統計と動向を理解し、わが国における母子保健上の課題を考察する。 第５回　母性保健の法律を学ぶ。 母性保健の施策に関連し、母性看護に関する組織と法律を理解し、わが国における母子保健上の課題を考察する。　（課題レポート提出） 第６回　母性看護の対象理解 女性の形態・機能の変化を学習する。 第７回　母性に必要な看護技術について述べることができる。 第８回　母性看護に必要な思考過程について理解できる。　課題レポートの総評	第 1～5 回：日比 第 6 回:野内 第 7 回:髙塚 第 8 回:日比
評価方法 評価基準	期末試験 60%、課題レポート 20%、課題・授業への参加 20%（課題 10%、学習成果の発表 10%）で総合的に評価する
教科書	『系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護学1』 森 恵美他著 医学書院 『系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学2』 森 恵美他著 医学書院
参考書等	『母性看護学Ⅰ概論第 2 版 女性･家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケアの追求』 有森直子編著 医歯薬出版株式会社
学生への助言等	母性看護学で基本となる概念を中心に学ぶ科目です。様々な考えを学びながら、自分で考えることが大切です。 課題レポートは母性に関連するテーマの中から自分の関心のあるテーマの文献を検索し、その内容を読み、自分の考えをまとめます。積極的に課題に取り組んでください。